

日本計画行政学会第 47 回全国大会スペシャルセッション / 令和 6 年 9 月 6 日 (金)

『世界気候エネルギー首長誓約』の首長たちの挑戦 —地方自治体が率先する気候政策—

<パネリスト> 富谷市長 若生裕俊 氏、亀岡市長 桂川孝裕 氏、みよし市長 小山祐 氏

キーワード 世界気候エネルギー首長誓約、地域気候変動の緩和・適応、EAP

【日 時】 令和 6 (2024) 年 9 月 6 日 (金) 13:30~15:30 (2 時間)

【会 場】 愛知大学 名古屋キャンパス 講義棟 4 階 (名古屋市中村区平池町 4-60-6)

【テーマ】 『世界気候エネルギー首長誓約』の首長たちの挑戦

—地方自治体が率先する気候政策—

【出演者】

パネリスト…富谷市長 若生裕俊 氏 / 亀岡市長 桂川孝裕 氏 / みよし市長 小山祐 氏

モデレータ…増原直樹 (兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

杉山範子 (世界首長誓約/日本事務局長、名古屋大学大学院環境学研究科 特任教授)

【次 第】

(13:00 開場・受付開始)

- ・開会・挨拶 一般社団法人地域問題研究所 理事長 青山 公三
- ・ガイダンス 趣旨説明、「世界気候エネルギー首長誓約」のご紹介
- ・Session 論点 1 『緩和』
論点 2 『適応・独自施策』
論点 3 『EAP』 (世界首長誓約が掲げる エネルギーアクセスと貧困の新たな取り組み)
- ・まとめ (15:30 閉会)

【概要説明】“世界気候エネルギー首長誓約”とは

- 「地球温暖化」の時代、加速する気候変動に対して、その影響を最前線で受ける地方自治体は、気候変動の緩和策のみならず適応策の取組も急務となっている。このため、**分野横断的で、総合的な、新しいフェーズの地域気候政策を地方自治体から進め、その実現性を高めていくことが期待される。**
- 「世界気候エネルギー首長誓約」(Global Covenant of Mayors for Climate & Energy) は、気候変動に取り組む世界最大の地方自治体の連合。日本国内では2024年5月現在、48自治体が参加。国内の誓約自治体と日本事務局は、令和5年度環境大臣表彰「気候変動アクション大賞」を共同で受賞した。
- 誓約内容である緩和、適応、及びエネルギーアクセスの施策は、気候変動による影響が多岐にわたり、従来の環境部局のみでの対応が難しくなっている。**誓約自治体では、どのように理解を広め、自治体内外の連携を図り協力の輪を広げているのか。世界首長誓約は、首長の意志を内外に示すことで、連携を推し進められるのか。**誓約自治体の首長にパネリストとして登壇いただき、地域気候政策の課題と今後の展開について議論いただく。



(出典：「世界首長誓約/日本」HP より)

【会場のご案内】

愛知大学 名古屋キャンパス

(<https://www.aichi-u.ac.jp/profile/campus/nagoya>)

〒453-8777 名古屋市中村区平池町 4-60-6

■ 鉄道をご利用の場合

- ・「名古屋」駅より徒歩約10分
- ・あおなみ線「ささしまライブ」駅下車
歩行者デッキ直通
- ・近鉄「米野」駅下車 徒歩約5分

■ バスをご利用の場合

- ・ささしまウェルカムバス「ささしまライブ」下車
- ・名鉄バス「愛知大学前」下車
- ・名古屋市営バス「ささしまライブ」下車

